

AIDS UPDATE

No.14 2000.5.23

広島大学医学部附属病院

エイズ医療対策室

内線2941 (輸血部副部長室)

Internet:www.aids-chushi.or.jp

☆ 広島大学医学部附属病院 エイズ医療対策室とは ☆

厚生省が指定した「エイズ治療のための中国四国地方ブロック拠点病院」は、本院と社会保険広島市民病院、県立広島病院と協力して行うことになっています。この3病院で、これまでに扱ったHIV感染者・エイズ患者数は65名です。広大病院内で、この仕事にあたる組織が「エイズ医療対策室」です。輸血部副部長の高田 昇助教授が室長を兼務しています。エイズ予防財団から派遣された職員として、小児科医師の西村 裕さん、原医研内科外来の豊田佳枝看護婦さん、臨床心理士の喜花伸子さん、情報担当の大江昌恵さんが加わっています。

ブロック拠点病院の制度は、薬害HIV裁判の和解の結果、それまで医療拒否にあい続けてきた原告たちの要求によってできたものです。従って、一般の医療機関に比べて広大病院は、HIV感染症の患者さんが治療や相談を求めて来院されやすいと思われます。職員には日頃から研修・学習を積み重ねることが求められます。エイズ医療対策室は情報などを通じてバックアップいたします。

☆ エイズのメーリングリスト、J-AIDS ☆

<http://www.egroups.co.jp/group/jaids>

Japan AIDS Information and Discussion Site、称J-AIDS(ジェイエイズ)という無料のメーリングリストを立ち上げました。あなたも参加しませんか。

このサービスをしている「eグループ」についての説明は、HPをご覧ください。

☆ 広島エイズダイアル(HAD)講演会 ☆

河野美代子先生(河野産婦人科クリニック院長)広島県の委託を受けたエイズ電話相談、イベント、患者支援などの活動を続けて9年がたちました。患者支援のため、本院にもメンバーが来院しています。HADは電話相談ボランティアを募集しています。さてHADは今年度最初の講演会を別記の要領で開催します。是非お誘い合わせの上お越し下さい。

【広島エイズダイアル講演会】

日時：平成12年5月28日(日) 13時30分～15時

場所：広島県健康福祉センター
(南区役所西隣)

演題：HIV・AIDSの新しい試み

講師①：榎本てる子(大阪市派遣カウンセラー・
バザールカフェ代表)

講師②：喜多條霧香
(バザールカフェスタッフ)

紹介：講師の榎本さんは、京都YWCAで、女性とエイズについて活動されていましたが、その後、様々な人が共に生きる空間としての喫茶兼レストラン、バザールカフェの設立に尽力されました。99年の夏の開店以来、様々な人の集まる場所となっています。HIV感染症は効果的な薬のおかげで慢性病へと変化してきています。そんな時代を生きるHIV感染者たちの今と榎本さん達の新しい試みをお話し頂きます。

主催：広島エイズダイアル Tel 082-541-0812

ウェブ：<http://www.ddt.or.jp/~had-0812/>

☆ 厚生省エイズ患者・HIV感染者情報 ☆

感染症法によって医師は、新規のエイズ患者・HIV感染者を診断した時には、1週間以内に保健所を通じて県知事に報告する義務があります。エイズ発病や死亡は任意報告が勧められています。2ヶ月毎に集計データが発表されています。今回の報告分では実数は多くありませんが、これまでの傾向が続いていることが説明されています。

【Takata】